

2020年3月期 第1四半期決算 連結業績概要

2019年8月5日

太陽誘電株式会社
経営企画本部長
増山 津二

決算サマリー

2020年3月期第1四半期 業績概要

- 売上高686億円(前四半期比3%増)、営業利益96億円(同10%増)で増収増益。
- 売上高は5月時点の想定通り。営業利益は固定費や値下げの抑制により想定を上回り、上期業績予想に対する進捗率は51%。

2020年3月期 業績予想

- 業績予想は変更なし。
- 売上高2,900億円(前期比6%増)、営業利益380億円(同8%増)を計画。

2020年3月期第1四半期 業績概要

売上高は前期第4四半期から3%増の686億円。

営業利益は10%増の96億円で第4四半期に対して増収増益を達成。

売上高は5月時点の想定通り。

営業利益は、固定費や値下げの抑制のため想定を上回った。

上期業績予想に対する営業利益の進捗率は51%。

2020年3月期 業績予想

通期の業績予想は5月に発表した期初予想から変更せず、

売上高は前期比6%増の2,900億円、営業利益は8%増の380億円を計画。

連結業績概要(前四半期比)

百万円	2019年3月期 第4四半期		2020年3月期 第1四半期		増減	
売上高	66,820	100.0%	68,635	100.0%	1,815	2.7%
営業利益	8,744	13.1%	9,595	14.0%	850	9.7%
経常利益	7,562	11.3%	8,846	12.9%	1,283	17.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,638	5.4%	7,151	10.4%	3,513	96.6%
対米ドル期中平均レート	110.64円		110.95円		0.31円円安	
為替変動による影響額	売上高+1億円、営業利益 +2億円 ※米ドル以外の通貨影響含む					
研究開発費	3,243		3,160		△83	△2.6%
設備投資額	7,998		8,605		607	7.6%
減価償却費	7,193		6,338		△855	△11.9%

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

3

2020年3月期第1四半期の業績は

売上高686億円、営業利益96億円、経常利益88億円、
親会社株主に帰属する当期純利益は72億円。

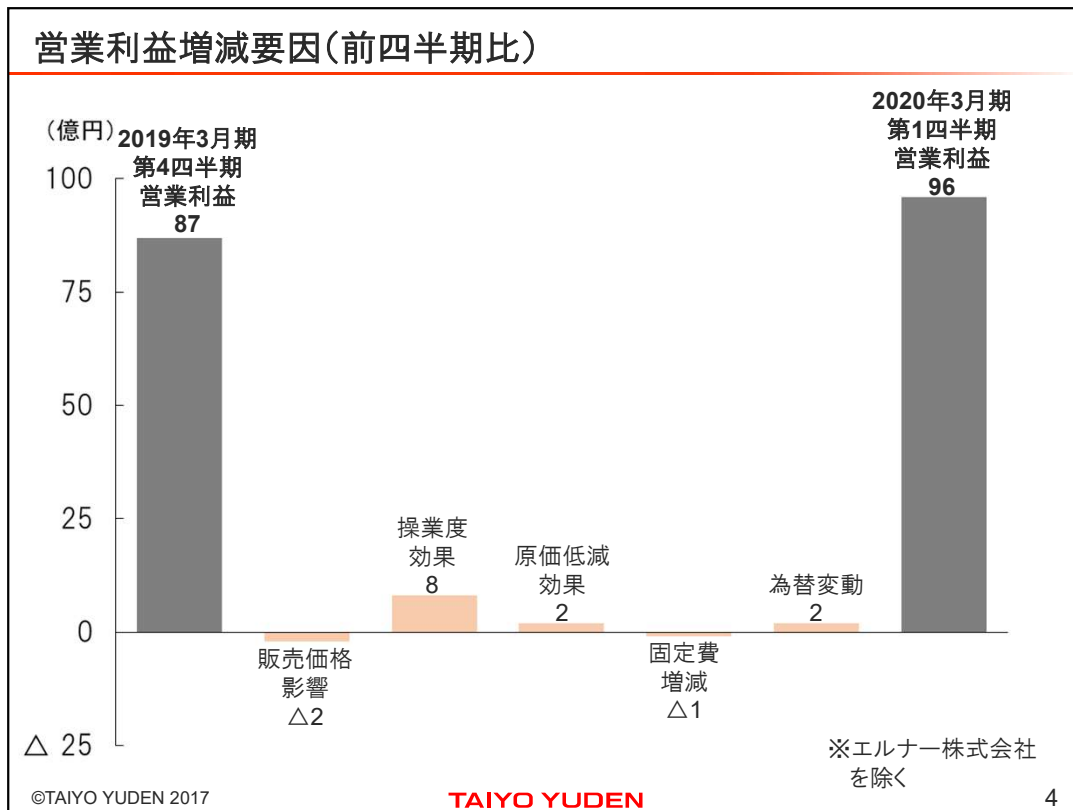
期中平均の為替レートは1米ドル110.95円、第4四半期に対して0.31円円安。
これによる影響額は売上高に対してプラス1億円、営業利益に対してプラス2億円。

研究開発費は、第4四半期比微減の32億円。

設備投資額は、同6億円増の86億円。

能力増強や、生産性の改善にかかる投資を行った。

減価償却費は、同9億円減の63億円。



営業利益の増益要因として、操業度効果8億円。
 操業度効果とは、販売数量増減やミックス改善、棚卸資産の増減など。
 6月末の全社の棚卸資産は、為替影響など利益に影響がない部分を除いた
 実態ベースで3月末より27億円増加。

このほか、原価低減効果2億円、円安による為替影響2億円が増益要因。

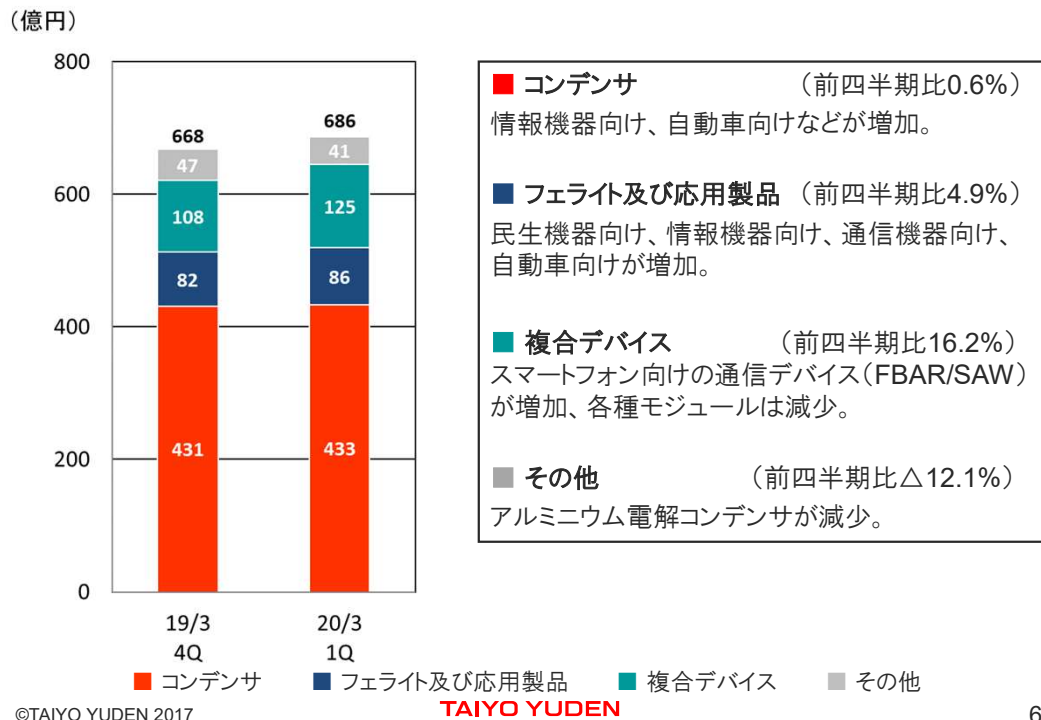
減益要因として、固定費の増加1億円。
 また、販売価格の変動により2億円のマイナス影響があったが、
 値下げは従来より緩やかな動きが継続した。

その結果、営業利益は第4四半期から9億円増加し、96億円。

製品別売上高(前四半期比)

百万円	2019年3月期 第4四半期		2020年3月期 第1四半期		増減	
コンデンサ	43,101	64.5%	43,338	63.1%	237	0.6%
フェライト及び応用製品	8,231	12.3%	8,633	12.6%	402	4.9%
複合デバイス	10,778	16.1%	12,523	18.2%	1,745	16.2%
その他	4,708	7.0%	4,139	6.0%	△569	△12.1%
合計	66,820	100.0%	68,635	100.0%	1,815	2.7%

製品別売上高(前四半期比)

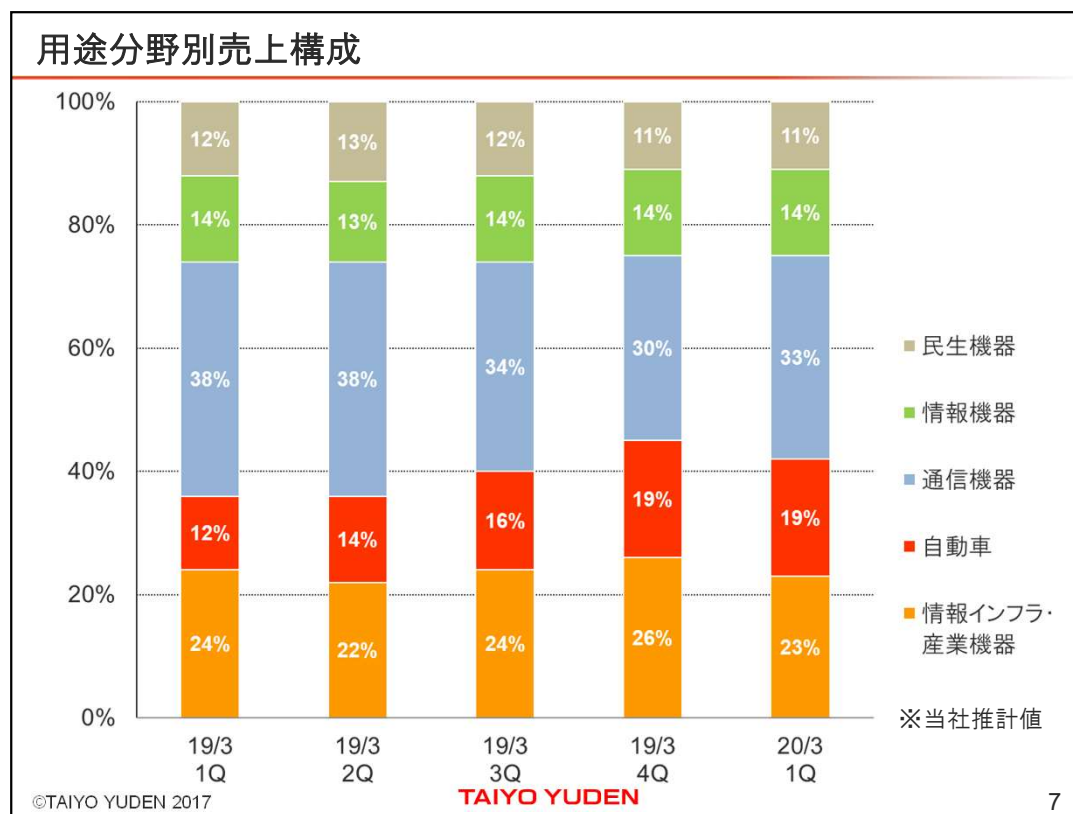


コンデンサの売上高は、前四半期比微増の433億円。
PCなどの情報機器向け、スマートフォンなどの通信機器向け、自動車向けが増加。

フェライト及び応用製品の売上高は、前四半期比5%増の86億円。
テレビなどの民生機器向け、情報機器向け、通信機器向けと自動車向けが増加。

複合デバイスの売上高は、前四半期比16%増の125億円。
スマートフォン向けの通信デバイス(FBAR/SAW)が増加、
各種モジュールが減少。
なお、複合デバイスの売上に占める通信デバイスの割合は、65-70%。

その他の売上高は、アルミニウム電解コンデンサが減少したことにより、
前四半期比12%減の41億円。



自動車向けは19%、情報機器向けは14%、民生機器向けは11%で前四半期からほぼ変化なし。

通信機器は、中華圏スマートフォン向けの売上が増加したことにより、前四半期から3ポイント増加し33%。

一方、産業機器向けの需要減速の影響を受け、情報インフラ・産業機器向けは前四半期から3ポイント減少し23%。

スマートフォンの需要動向の影響を受けにくい事業構造を確立するため、今後も自動車と情報インフラ・産業機器を注力市場と位置付け、合わせて50%をターゲットとして着実に売上を伸ばしていく。

2020年3月期 連結業績予想

百万円	2019年3月期		2020年3月期			増減	
			上期	予想			
売上高	274,349	100.0%	145,000	290,000	100.0%	15,651	5.7%
営業利益	35,237	12.8%	19,000	38,000	13.1%	2,763	7.8%
経常利益	34,351	12.5%	18,500	37,000	12.8%	2,649	7.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益	23,687	8.6%	12,500	25,000	8.6%	1,313	5.5%
対米ドル期中平均レート	110.49円		110.00円			0.49円円高	
研究開発費	13,039		13,000			△39	△0.3%
設備投資額	38,570		45,000			6,430	16.7%
減価償却費	26,547		28,000			1,453	5.5%

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

8

2020年3月期業績は、5月に発表したものから変更せず、
売上高2,900億円、前期比6%増収を計画。
営業利益は380億円、経常利益は370億円、
親会社株主に帰属する当期純利益は250億円と予想。
研究開発費、設備投資額、減価償却費の見通しにも変更はなし。

第2四半期の製品別売上は、1米ドル108円を前提として、
第1四半期に対してコンデンサはプラス0-5%、
フェライト及び応用製品はプラス25%前後、複合デバイスはプラス10%前後を見込む。
全社ではプラス5-10%を予定。

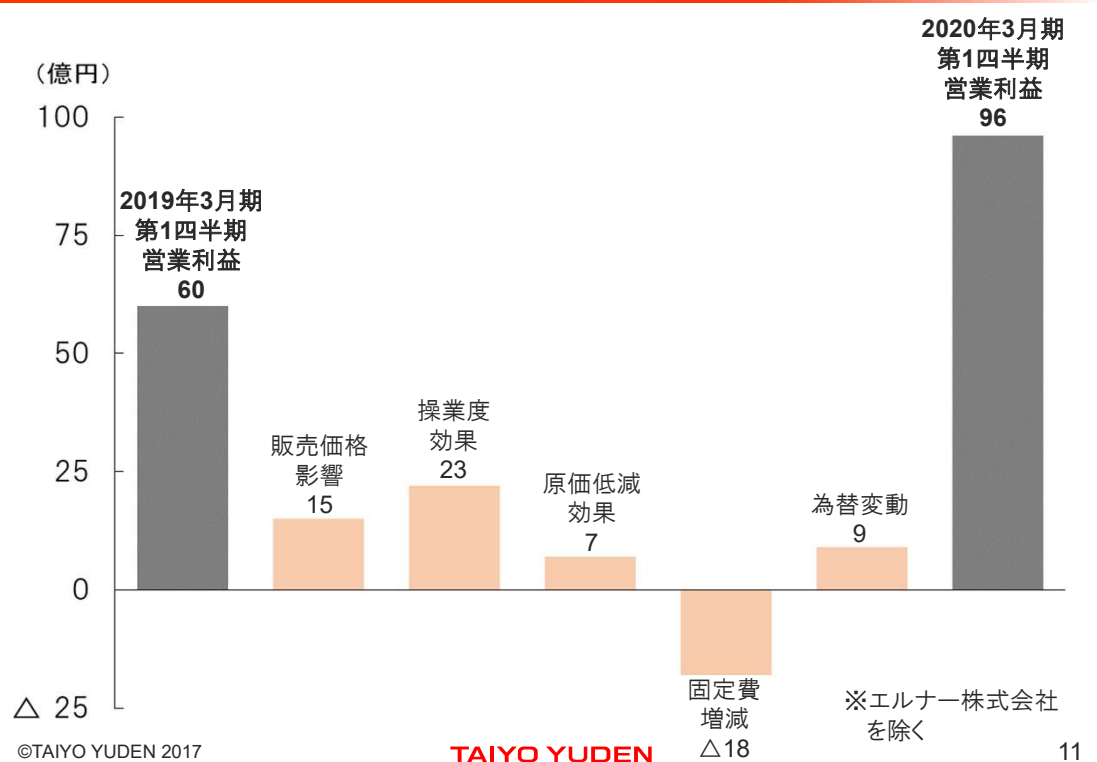
なお、全社の9月末の在庫は、6月末とほぼ同水準の見込み。

補足資料

連結業績概要(前年同期比)

百万円	2019年3月期 第1四半期		2020年3月期 第1四半期		増減	
売上高	59,576	100.0%	68,635	100.0%	9,059	15.2%
営業利益	5,981	10.0%	9,595	14.0%	3,613	60.4%
経常利益	6,896	11.6%	8,846	12.9%	1,949	28.3%
親会社株主に 帰属する当期純利益	5,645	9.5%	7,151	10.4%	1,505	26.7%
対米ドル期中平均レート	107.76円		110.95円		3.19円円安	
為替変動による影響額	売上高+6億円、営業利益+9億円 ※米ドル以外の通貨影響含む					
研究開発費	3,246		3,160		△86	△2.7%
設備投資額	5,038		8,605		3,566	70.8%
減価償却費	6,065		6,338		272	4.5%

営業利益増減要因(前年同期比)

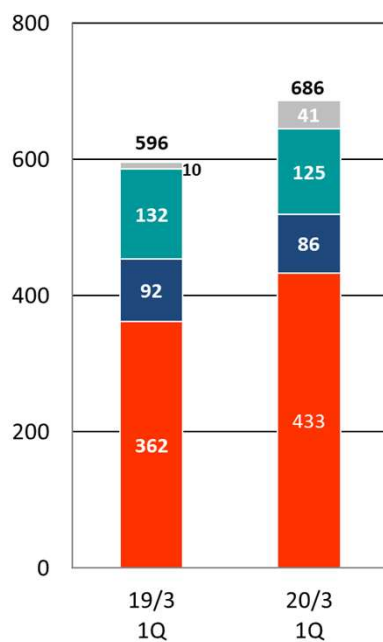


製品別売上高(前年同期比)

百万円	2019年3月期 第1四半期		2020年3月期 第1四半期		増減	
コンデンサ	36,184	60.7%	43,338	63.1%	7,154	19.8%
フェライト及び応用製品	9,228	15.5%	8,633	12.6%	△594	△6.4%
複合デバイス	13,208	22.2%	12,523	18.2%	△684	△5.2%
その他	954	1.6%	4,139	6.0%	3,184	333.5%
合計	59,576	100.0%	68,635	100.0%	9,059	15.2%

製品別売上高(前年同期比)

(億円)



■ コンデンサ (前年同期比19.8%)

すべての機器向けで売上が増加。特に自動車向けが大幅増。

■ フェライト及び応用製品 (前年同期比△6.4%)

民生機器向けが増加したが、情報インフラ・産業機器向けなどが減少。

■ 複合デバイス (前年同期比△5.2%)

通信デバイス(FBAR/SAW)、電源モジュールが減少。

■ その他 (前年同期比333.5%)

子会社化したエルナー株式会社の売上が加わった。

■ コンデンサ

■ フェライト及び応用製品

■ 複合デバイス

■ その他

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

連結業績推移(四半期)

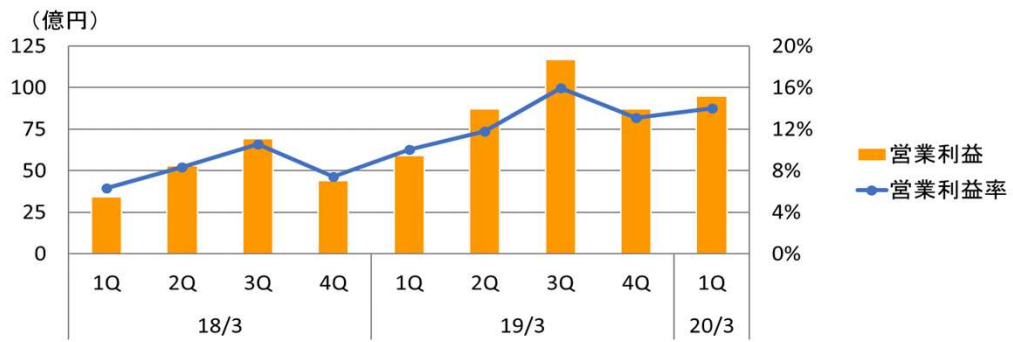
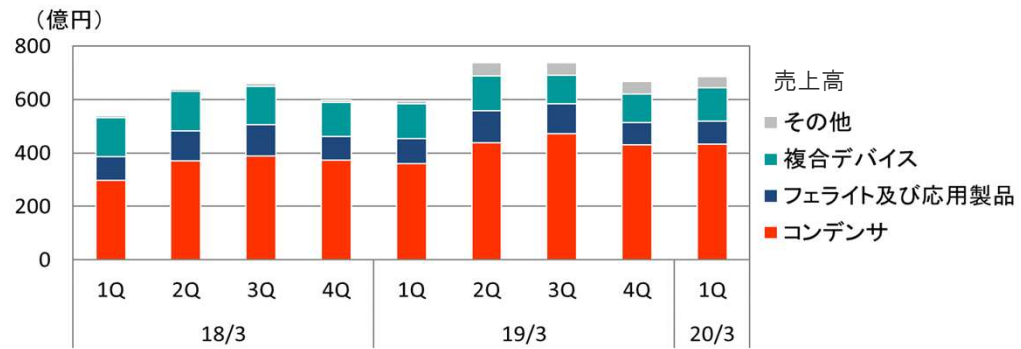
百万円	2018年3月期				2019年3月期				2020年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	54,072	64,107	66,053	59,883	59,576	73,989	73,963	66,820	68,635
コンデンサ	29,747	37,019	38,800	37,290	36,184	43,984	47,362	43,101	43,338
フェライト及び応用製品	8,847	11,376	11,746	9,006	9,228	11,926	11,209	8,231	8,633
複合デバイス	14,711	14,871	14,533	12,722	13,208	13,160	10,783	10,778	12,523
その他	766	840	972	863	954	4,918	4,607	4,708	4,139
営業利益	3,412	5,362	6,985	4,460	5,981	8,722	11,789	8,744	9,595
経常利益	4,421	5,599	6,596	3,935	6,896	8,489	11,403	7,562	8,846
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,113	4,265	5,301	3,675	5,645	5,334	9,069	3,638	7,151
対米ドル期中平均レート	111.81円	111.11円	112.23円	110.62円	107.76円	110.84円	112.71円	110.64円	110.95円

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

14

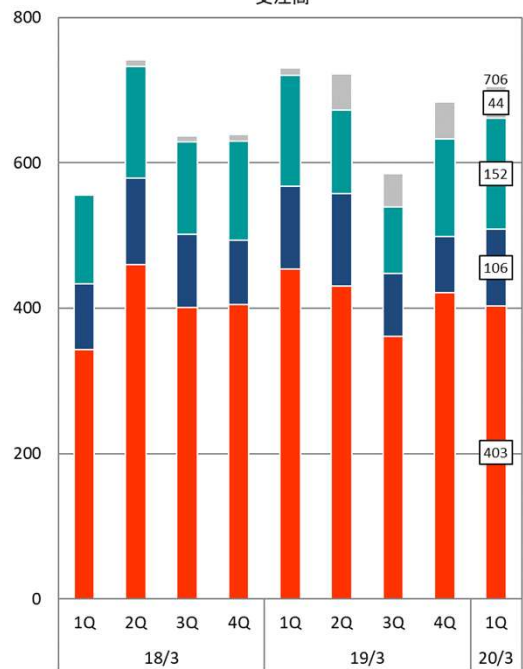
連結業績推移(四半期)



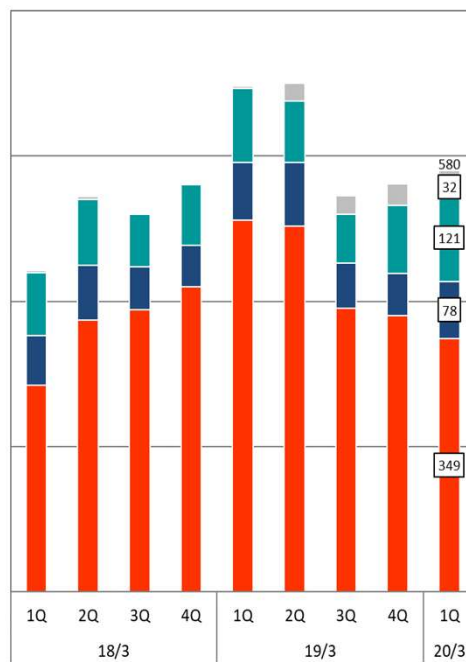
受注高・受注残高推移(四半期)

(億円)

受注高



受注残高



©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

16

当資料に記載されている、当社(太陽誘電株式会社、および当社グループ)に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN